

# 農福連携の取組事例(「農」主体)

## (株)なかせ農園 (熊本県菊池郡大津町)

～障害者の雇用と福祉事業所への作業委託により経営規模を拡大～



水はけの良い火山灰土のほ場



芋の重さによる選別作業



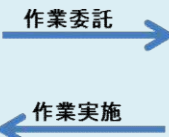
蔵出し「ベニーモ」

### 経緯

- ・甘藷栽培暦30年。G-GAP取得による品質向上や労働力の安全管理体制を構築。
- ・収穫後に徹底した温湿度管理で熟成貯蔵し、甘みの強いさつまいもだけを出荷。
- ・H28年に法人化。同年、最新の貯蔵倉庫を新設するとともに、新卒の障害者を雇用。また就労継続支援事業所に作業委託し、利用者に就労の場を提供。規模拡大を着実に推進(H23年の4haからH30年は7.7haに拡大)。

### 体制

(株)なかせ農園  
役員 2名  
社員 2名  
パート 3名  
※社員のうち1名は障害者  
  
〇さつま芋の生産・加工・販売



地元の福祉事業所(就労継続支援A型事業所)  
支援員 1名  
利用者 4~10名

### 取組内容

- ・さつまいも専作であり、青果のほか加工品(干しいも)も販売。販売先は大手スーパーの他、シンガポールへの輸出にも取組んでいる。
- ・事業所への主な委託作業は、苗切り作業、芋のつる切り、機械を用いた芋の重さによる選別作業など。
- ・雇用している障害者は、仕事の飲み込みが早く、多くの作業に対応できるようになっている。
- ・複数の動作を行うことが苦手なため、作業を細かく分けて分担している。

### 取組の評価

- ・人手のかかる甘藷の規模拡大は、家族の労働力のみでは対応できず、健常者の雇用も人手不足で難しい中、障害者の労働力があって可能となった。
- ・雇用している障害者は、当社に雇用されたことを誇りに思っており、意欲的に働いている。
- ・事業所への委託により、4名の障害者が年間10ヶ月程度、6名の障害者が年間6ヶ月程度作業に従事しており、多くかつ長期間、障害者に就業の場を提供。